

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和6年9月5日）

1 主な報告等

(1) 県警察における障害者雇用の現状について

委員から、各種業務において、障害を持つ職員に対する様々なサポートや配慮がなされていることがよく理解できた。障害者雇用はとても重要であり、今後も障害に関する職員の理解を深める教養を行うとともに、障害を持つ職員の意見・要望に配慮しつつ、継続雇用に努めていただきたい旨の発言があった。

(2) 店舗対象犯罪防止連絡協議会の実施について

委員から、万引きや特殊詐欺防止等対策として、仕掛学やダミーギフトカードを活用するなど、大変良い取組である。他の店舗にも情報共有して、この取組を広げることにより、万引き、特殊詐欺防止等に繋げていただきたい。また最近、他県で発生している貴金属取扱店等に対する強盗事案についても、県内における同種事案の未然防止を図るため、対象店舗と連携した効果的な防犯対策を検討していただきたい旨の発言があった。

(3) 令和6年度民間通訳員連絡会議の実施について

委員から、民間通訳員として、多くの方々が警察の各種業務に協力していただき大変心強く思う。インバウンド需要の高まりやグローバル化に伴う外国人の流入により事件・事故が増加し、様々な言語の通訳員が必要となることから、警察通訳の円滑な運営のため、職員の通訳員育成と併せて、継続した民間通訳員の確保に努めていただきたい旨の発言があった。

(4) 在沖縄海兵隊員による不同意性交等致傷事案について

委員から、今回の事件の被害者へのカウンセリング等による精神的なケアとプライバシーの保護が何より重要である。沖縄県への事件概要等の連絡・通報もあり、難しい面もあるかもしれないが、今後もこの種事案の被害者のケアとプライバシー保護に十分配慮していただきたい旨の発言があった。

(5) 令和6年度沖縄県警察本部長・沖縄県交通安全協会連合会長連名表彰式の実施について

委員から、ボランティアは縁の下の方であり、通学路等における子どもの見守り活動や交通安全指導活動は、大変重要である。そのような方々の功労を労い、きちんと表彰することは大変意義があり、今後も継続していただきたい。また、ボランティアの高齢化等による人材確保の課題についても、退職公務員等に対するボランティア活動参加への声かけやボランティア活動への参加をあらゆる年代に広く呼びかける新たな場を開拓するなど、その活性化に努めていただきたい旨の発言があった。

(6) その他

警察本部から、米軍構成員の性犯罪事件等に対する県民の不安感の高まりや沖縄県からの情報提供要請により、新たな枠組みとして、警察本部から沖縄県に対する情報提供を始めたところである。その一方で、この種事案は、被害者のプライバシーに特に配慮しなければならないことから、個別事案毎、慎重に判断する必要がある。今後も、沖縄県への情報提供の適正な運用、被害者のプライバシー保護とあわせて、不安を和らげるための被害者支援にしっかりと取り組んでまいりたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 県議会への提出議案について
- ・ 審査会への諮問について
- ・ 審査請求の受付について
- ・ 損害賠償請求の提訴について

(2) 交通部

- ・ 中央線変移システムの更新について
- ・ 安和死傷事故関連報告について
- ・ 自動車運転免許の行政処分について

(3) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求及び警備情勢について